

# 波 紋

1998 6 月 第156号

## ●●● 新入社員歓迎・観劇会 4/22(水) ●●●

四月二十二日に新制作座創立50周年記念公演、「泥かぶら」の鑑賞会に行かせて頂きました。

あらすじ

昔、大変顔がみにくい為、みんなから「泥かぶら」と呼ばれいじめられていたある少女が一人の老法師と出会い、その老法師に美しくなる為の三つの方法（自分の顔を恥じないこと。どんな時にもにっこり笑うこと。人の身になって思うこと）を覚えてもらい、少女はその教えを守り人の為に一生懸命働き、やがて、本当の意味で美しい少女に成長していきます。そして、優しい泥かぶらの心に触れ、今まで泥かぶらを感じていた周りの人達のすさんだ心もきれいになっていくのです。



パンフレットより



パンフレットより

感想

「泥かぶら」この演劇を鑑賞して本当にきれいな人とはどんな人の事を言うのだろうかと改めて思いました。美しくなる為の三つの方法「自分の顔を恥じない。どんな時にもにっこり笑う事。人の身になって思う事。」この三つができる人というのは本当に素晴らしいのではないかと思います。私も日頃からこの三つの事を心がけてみようと思えます。誰かが自分に親切にしてくれると、自分もみんなに親切になつていく、このくり返しでいつの間にかみんなの心が温かくなるのだと思います。

(キャラクター) 吉田 愛

### 「規制緩和」

「ビッグバン」・「規制緩和」・「構造改革」日本中が五十年振りに大きく揺れ動いている昨今です。全て米国式に合わせようとしている事が善い事なのでしょうか？ 私は疑問に思います。

資本主義、民主主義では先進国であるのは認めるが、たかが二百年の歴史しかない国のやり方を導入するのは本当に良い事でしょうか？

習慣・伝統・文化・宗教の異なるそれぞれの国は、各国各様に異なつてあたりまえだと思ふのですが……

このたびの戦争で一回ぐらい負けたからと言って、欧米スタイルを取り入れてしまふのは、いかがなものか。

日本式の良い部分、悪い部分を十分認識して、改善していかなばならない。森松社内にも同じで、企業に良い部分がある。そして中小企業森松にも十分すばらしいところが存在すると思う。どの部分が良くてどの部分を改善していかなばならぬのか、サークルを中心に皆で話合つて行きたい。八月に第十二回の改善発表会が開催されるが、業務上の改善と同時に企業全体のシステムの問題点を掘り起こし話し合つて確認して下さい。

日本民族に誇りを持たない日本人は悲しい事です。同じく、自分の所属する会社に誇りが持てない社員も残念な事です。

森 信之



トシ君の一方通行

「モーション語録」**トマトはトマト**

トマトはトマト……必ず質問されるのがこのトマトはトマトであります。どういう意味かと申しますと、やはり、トマトはトマトなのであります。これじゃ分かんわなあ、つまりトマトはトマトでええじゃないかい、何もメロンに見せなくてもええじゃないか、トマトはトマトの味わいがあり、メロンにない良さがあるんです……という意味でして、要するに人間にたとえるならばかっこつけないで、持ち味を活かしなさいなということですよ。トマトはトマトのファンがいるじゃんかという事ですな。しかし、森松の場合はどういうトマトかなあ、べちよっとしたトマト、臭いを感じないトマトで森松の社員でいけるんかいなあ、形が悪くとも、昔の畑でもぎとったトマトは旨かった。個性を感じるトマトだった。もぎとったら冷蔵庫で冷やさなくとも旨かったよ。あれだよあれ、あれがトマトだよ。

ああいうトマトならファンが増えるよ。稀少価値があるトマトでいきましょうや!!

木村英利

森松クインテット

「スーパードライ」

いよいよビールのおいしい季節となりました。しかしこのご時勢、なかなか「パー」とはできなくなりましたね。私はビールでは、アサヒのスーパードライが好きです。味が分かるほど飲兵衛ではありませんが、なぜか美味しく感じます。またラベルも感じ良く発売当時から好きでした。

さて、このスーパードライのラベルですが、右上すみに黒線が入っている事に気づかれた方はいるでしょうか。これはラベルの貼り間違い（裏表）防止対策の印刷です。他にラベルの形を変えるとか、ラベルの両面に印刷をする、センサーを取り付ける……といった案が出たらしいですが、この線が一番手っ取り早く、すぐ取り入れられたそうです。これにより裏表の貼り間違いは、未だに発生していないそうです。気が付きにくい線ですが、こんな意味があったんですね。これらの事を聞くと、スーパードライが売れる理由として妙に納得してしまいます。

さあ今夏のビール売り上げはどうなるでしょうか……。最近ワインも人気が出てきたし、ビール業界にしても大変厳しい年となるでしょう。懐に余裕がある限り、今年もおいしいビールを飲みたいと思っている今日このごろです。

(ポテト) 山口隆弘



喜怒哀楽

「ちよっくんをっす」

長引く不況と環境問題で私どもの業界はダブルパンチの状態なんじゃないか? 最近、「売れない」とか「儲からない」なんて言葉をついつい使っているような気がします。そんな時、私、営業マンとしましては、何処へ何を売ればいいのかだろうか? と、つい方向を見失い焦ってしまふ様な気がします。

先日「あなたのお客さんになりたい!」という本を読みました。お客さんにサービスや感動を与える顧客満足の内容の本でした。その中の一部を引用させていただきます(今までのサービス業は、まず「お徳だ」というところからスタートしました。スーパードライは流通の改革、大量販売によって、どんな安く「お徳」になりました。「お徳」ということが、サービスでした。やがてそれは「便利」に変わりました。これが、スーパードライからコンビニへの移行です。これらは何か。それが、「ちよっとうれしい」です。あなたがお店に行って「あの店はよかった」を与えることができなかつたら、サービスをしなかつても同然なのです……」

そして、満足してくれたお客さんは営業マンになってくれるそうです。要するに給料のいらない宣伝マンになってくれています、口コミで広がるということです。(その逆になったら大変ですけれども……)

不況のご時世の中、つい目の数字にとらわれ、この「ちよっとうれしい」を忘れかけているかも知れません。ですからこんな時こそ、焦らず商売の基本を忘れず、原点に振り返りコツコツとお客さんに対し「ちよっとうれしい」小さな感動)を与え続けられるようにしたいと思えます。一生おつきあいしてもらえようように心がけたいと思います。



(キャロット) 安井浩二



# 私の図書館

## 最近呼んだ本を紹介してもらおうコーナー

### 『一番悪いときが』

#### 一番のチャンス

邱 永漢著

日本だけでなく、世界中の経済秩序が崩壊すれば、新しい秩序が必ず生まれるものである。古い秩序と古い組織と古い固定観念に縛られると自然淘汰されてしまうものである事がこの本を読んで良く解りました。消費者の感覚の変化がお金の使い道に必ず現れると記されていますのでその感覚を掴むためにも家にじっとせず、常に世の中の動向を感じ取りたいといけないなあと感じています。

この不況の中で消費者のお金の使う優先順位は一位エンターテイメント、二位食べる事、三位海外旅行、四位趣味と道楽、五位健康と美容、六位教養知識稽古事らしいです。不況だから皆節約しているといった状況のようですが、食べる事には少々のお金を使う気持ちがあるようです。ショーや劇を見ながら美味しい食事を取る事がいいのかもしれないですね。著者邱永漢氏はこれからのビジネスチャンスはアジアにあると強調しています。通貨不安の大きい被害に遭わなかった中国、おおい被害にあったタイや韓国も必ず経済成長の波がくると言っています。

日本が駄目なら海外があるさの感覚で行った方がチャンスが掴む事が出来ると言う事のようにです。その時に絶対に注意しなくては行けない事はクロウトの情報だと言っています。美味しい話には、そうそう人に話すものではないと言う事です。

クロウトの情報だけで判断せず、自分の感性で判断しなさいと言うアドバイスがあります。私も同調します。何かする場合は必ず現地に自分自身が行き、その地の感覚を自分の肌で感じて事を進める事が常識と言う事だと思います。最後に一番悪いときそれをチャン

スと生かす為には、少しばかりの勇氣と少しばかりの捨て金が必要だと記載されています。



(サクラノポ) 西田聖一



### 『一番悪いときが』

#### 一番のチャンス

邱 永漢著

まず最初にこの本を読んで思ったことは自分自身が会社という組織の中で働いているという事でありがたく思いました。

なぜなら、今までバブル崩壊などという不景気な世の中といわれていますが、実際自分自身は何の不自由なく過ごしてきました。今は社会人として働いてサラリーをもらっていますが、アルバイトをしても働けばお金がもらえるのだという意識がありました。しかし、この本を読んで経営者の立場というものがいかに大変なものかということを知り、今後自分自身がどのような姿勢で働くべきかということが少しわかったような気がします。そして、このままサラリーマンとして働くにしても、いざれ経営者として進んでいきたいと考えるにしても、目先の情報、過去の結果にとらわれず、いろいろな分野で何事も人より先に目線を置き考えていきたいと思えました。



(サクラノポ) 服部高久

### 『地球環境・読本』

#### (間違ってる信じているやつ)

井手敏彦著

ゴミは焼却と埋め立てで処理すればいいというのが常識的に誰もが思いがちですが、でもゴミ焼却は効果がなく埋め立ては有害物質をまき散らしているだけだといえます。

ゴミ問題が地球規模で環境問題として上げられていることは私達の意識が十分でなかったために今日までこんなにも大きく深刻化してしまっているのだと感じました。根本的な原因は私もそうですが、単に「たかがゴミ」と直に軽視してしまいがちな点にあるのだと思います。子どもの頃よく「部屋を掃除しなさい」と言われて、散らかっていた物を母の目の付かない所へ押し込んできれいにかたづけした気でしたが、今思うとそれは単にゴミを隠していただけでした。これは今でもいえる事で、ゴミが出たらただゴミ袋に詰め込んで捨てていますが、これもただ目の前からゴミを見えなくしているだけだった子どもの頃と変わらず隠しているだけかもしれません。

国中がゴミで埋まってしまわないためには私たち一人ひとりが排出を規制して行き、使い捨てではなく、出来るだけゴミにならないような生活スタイルを心掛け、ゴミになった物は極力リサイクルし、最後の最後に残った物だけを処理するように考えていかなければと思います。これからは「たかがゴミ」という考えを改め、ゴミを安易に出さないよう、日常の生活スタイルに心掛けたいと思います。



(ポテト) 堂下 茜



## 平成10年 6月の社内行事

- 1日(月) カマタ会
- 丹後公園野球場
- 2日(火) 誕生会 (野球)
- 3日(水) 服部さん誕生日
- 4日(木) 菱和会
- 6日(土) 第一土曜日休み
- 11日(木) 丹後公園エニスコート
- 12日(金) 田井村さん誕生日
- 13日(土) 荒井さん誕生日
- 16日(火) 大橋さん誕生日
- 20日(土) 森松産業実地棚卸
- 22日(月) 生産会議 17時40分
- 23日(火) 経営会議 15時10分～16時
- 25日(木) 営業会議 17時～18時
- 27日(土) 編集会議 17時50分
- 29日(月) 第三土曜日休み
- 丹後公園野球場
- 30日(火) (キックベースボール) 山口さん誕生日

## 1998年 Calendar (7月～12月) ○…休日

JULY 7							AUGUST 8							SEPTEMBER 9						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	④					△6	△7	⑧			1	2	3	4	⑤
⑤	6	7	8	9	10	⑪	②	3	4	5	⑬	⑭	⑮	⑥	7	8	9	10	11	⑫
⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	
㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛		㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉗	㉘	㉙	㉚			
OCTOBER 10							NOVEMBER 11							DECEMBER 12						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	③	①	2	③	4	5	6	⑦			1	2	3	4	⑤
④	5	6	7	8	9	⑩	⑧	9	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑥	7	8	9	⑩	⑪	⑫
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉓	㉔					㉗	㉘	㉙	㉚	㉛			

△は交代休み

# 7/10・11 モーリンググループ慰安旅行

## 軽井沢

### 編集後記

蒸し暑くなってきました。南区で一人暮らしを始めたのですが、いきなり冷蔵庫が壊れ、毎日野菜の具合をみて「うん、まだいける！」と納得してから食べています。これからの季節は特に、食中毒には気をつけましょう。



小沢由紀子

編集発行者  
森松株式会社

編集責任者

妹尾峰男

平成10年6月1日  
第156号